



中国・武漢市を中心に感染が拡大している新型コロナウイルスによる肺炎のニュースが連日報道されています。さまざまデマや不確実な情報が流れています。手洗いをしっかりしつつ正しい行動を取りたいと思います。

災対本部立ち上げ訓練が開催されました

災害時の意思決定の要となる「災害対策本部」。院内外の情報を集めて状況を把握し、その後の行動を決めてゆくにはスムーズに立ち上げる必要があります。当院では立ち上げ訓練を定期的に行っており、先日も訓練が行われました。

日時:令和2年1月29日(水)15時半より16時半

本部立ち上げ場所:2階研修ホール

参加者:22名(医師2、看護師8、リハ2、ME1、放1、栄1、事務4、施設1、医学生2)

今回は津波がない(大津波警報が出なかった)という想定で、いつもの5階デイルームではなく初めて2階研修ホールで本部を立ち上げました。15時半、災害対策委員会を開催している最中に大きな揺れを感じたという想定で訓練開始。シェイクアウトのポーズのあと、研修ホールに常備してあるアクションカードを本部長(今回は看護部長)が本部要員となるメンバーに配布。それぞれカードの指示どおりに物品を調達し、本部を立ち上げました。15分程経過して徐々に本部の形が出来てきた頃に、被災状況(をあらかじめ記入した)第1報用紙が集まり始め、集計が開始されます。EMISや衛星携帯電話も順次立ち上がり、外部との連絡手段が確保されました。クロナロの記載も行われ、16時10分、本部長が籠城を宣言したところで訓練終了となりました。その後は参加者一同輪になって振り返りを行いました。以下参加者の声(抜粋)です。



C(Command and Control; 指揮命令系統)

- ・本部に必要な物品のうち、PCやプロジェクター、ホワイトボードなどは院内各部署で普段から使用されている。発災時に集めるのは大変だが1カ所に保管しておくのも勿体ない。
- ・集計表はもっと大きなものをあらかじめ用意しておくこと便利。誰もが一目で確認したい。

S(Safety; 安全)

- ・昼と夜で安全確保に大きな差が出てくると思う。懐中電灯などの準備が必要。

C(Communication; 情報伝達)

- ・ クロノロ記載や EMIS 接続、衛星携帯電話接続はスムーズに出来たがいずれも訓練が必要。定期的なトレーニングの場を提供する必要がある。

A(Assessment; 評価)

- ・ 本部長として最初に欲しい情報は病院避難が必要かどうかの判断材料(建物被害、ライフライン)。患者情報で欲しいのは、手術中患者と人工呼吸器患者、酸素投与中患者の容態(緊急度)。

その他

- ・ 本部運営の流れがよくわかった、これからも定期的に繰り返し参加したい。
- ・ 本部レイアウトやゾーニングにさらなる工夫が必要。
- ・ 限られた情報を元に「臨機応変」に対応しなければならないと感じました。

「本番のように訓練をし、訓練のように本番を行う」という言葉を思い出しながら。今後も定期的に訓練を続け課題を抽出し改善に取り組みます。どなたでも参加 OK です、次回は是非どうぞ。

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルスによる肺炎は、日本でも人から人への感染例が出るなど、拡大に歯止めがかかっていません。クルーズ船から感染症指定病院への搬送や、船内の3700人の乗客の健康管理やサーベイランスにDMATが投入されています。このウイルスは現時点の情報では、幸い感染力はそれほど強くないようです。私たちにできる対策をまとめました。いずれも普段から注意すべき内容です。これ以上感染拡大がないことを祈ります。

<h3>マスクはきちんと鼻と口を覆いましょう</h3> <p>顎だけマスク 鼻だしマスク</p>	<h3>気道分泌物を触ったら手指衛生 (アルコール消毒または石けん+流水による手洗い)</h3> <p>手洗い前のウイルス数 手洗い後のウイルス数</p> <p>約1,000,000個 数百個</p> <p>イラストは http://amr.ncgm.go.jp/infographics/005.html より</p>
<h3>気道症状 (咳, 鼻汁, 咽頭痛) のある患者すべてに咳エチケットを</h3> <h4>3つの咳エチケット</h4> <p>イラストは https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsite/bunya/0000187997.html より</p> <p>待合室ではサージカルマスクを着用してもらえれば他の患者と1m以上離れてもらう</p>	<h3>汚染された手袋をしたまま キーボード, PHSを触らないように!</h3>